

# 滋賀県基本構想

2019～2030年度

人・経済・社会・環境  
「未来へと幸せが続く滋賀」へ

# 変わる滋賀

# 続く幸せ

Evolving SHIGA

滋賀県 総合企画部企画調整課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号 TEL:077-528-3313 FAX:077-528-4830  
E-Mail:kikaku@pref.shiga.lg.jp 滋賀県ホームページ:http://www.pref.shiga.lg.jp/

滋賀県基本構想

検索



平成31年(2019年)3月策定

このリーフレットは再生紙を使用しています。



滋賀県

# 「変わる滋賀 続く幸せ」

## 滋賀県基本構想

- 「みんなで目指す」12年間(2019年度～2030年度)の将来ビジョンです。
- SDGsの特徴を生かし、「経済」「社会」「環境」のバランスを取りながら取組を進めます。

私たちは今、世界がこれまで経験したことのない変化に直面しています。この未知の変化の中で、一人ひとりが尊重され自分らしく生きることができる「未来へと幸せが続く滋賀」を実現するためには、滋賀が培ってきた文化や知恵を生かしながら、私たちが時代に合わせてしなやかに変わり続け、行動する必要があるのではないのでしょうか。

## これからの時代の展望

### ①世界共通の目標、SDGs

●持続可能な社会を実現するための目標であるSDGs(持続可能な開発目標)が、世界中の企業や個人の新たな行動規範となろうとしています。

### ②人口減少と高齢化の進行

●人口減少と高齢化の急速な進行により、様々な分野の担い手が不足し、地域の活力が低下するなどの影響が出てくるおそれがあります。

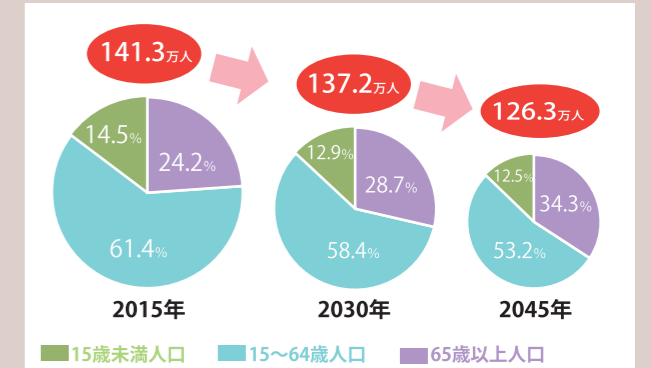
### ③第4次産業革命、Society5.0

●IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなど第4次産業革命と呼ばれる技術革新により、産業、労働、生活などあらゆる物事が変わろうとしています。

### ④自然環境をとりまく状況の変化

●地球温暖化により生態系や農林水産業への影響、災害の発生などのリスクが高まっていて、世界で脱炭素社会への取組が進んでいます。

滋賀県の人口と年代別構成比の将来推計



※日本の地域別将来推計人口(2018年推計)(国立社会保障・人口問題研究所)より滋賀県作成

## 2030年。目指すのは、誰もが自分らしく生きることができる滋賀。

自分らしい未来を描ける生き方と、その土台となる、経済・社会・環境の3つのバランスの取れた持続可能な滋賀を、みんなの力を合わせてつくります。

### 人 自分らしい未来を描ける生き方

①年齢、性別、病気・障害の有無などにかかわらず、誰もが生涯、自分らしくからだも心も健やかな生活を送ることができるようになっていきます。

②仕事、学び、子育て、介護などを柔軟に組み合わせた多様なライフコースを選択し、生涯現役で活躍することや、再挑戦することができるようになっていきます。

健康寿命日本一	病気予防	地域医療福祉
こころの健康	文化・スポーツ	子育て・教育
リカレント教育	再挑戦	テレワーク

### 経済 未来を拓く新たな価値を生み出す産業

環境や社会への配慮、第4次産業革命(ICT、IoT、AI、ロボット技術、データ活用など)への対応、成長市場や分野を意識した事業展開等が進み、新しい時代の滋賀の成長を支える多様な産業と雇用が創出されています。

IoT	AI	イノベーション	ESG経営
ダイバーシティ		高度人材育成	事業承継
スマート農業		オーガニック	観光・魅力発信

### 社会 未来を支える多様な社会基盤

地域の特性に配慮した社会基盤の整備が、ハードとソフトの両面から進み、安全・安心な生活や産業活動を支えています。

強靱なインフラ	コンパクトなまち	地域公共交通
ICT基盤	地域コミュニティ	農山漁村
自然災害への備え	安全・安心	共生社会

### 環境 未来につなげる豊かな自然の恵み

すべての人や企業などが環境に配慮した暮らしや産業活動を行うとともに、多様な主体が環境保全活動に取り組み、琵琶湖をはじめ、すべてのいのちの基盤となる環境からの恵みがあふれています。

琵琶湖の保全再生・活用	地域資源の循環
気候変動への対応	低炭素・脱炭素社会
やまの健康	環境を支える子育て